

'19 龍谷大学宗教部公開講演会

—第154回 顕真館公開講演会—

▶11月6日(水) 13:15~14:45

深草 顕真館

仏教はどこまで心理学か

精神科医/相愛大学・高野山大学客員教授 **名越康文** 先生

21世紀において、世界が最も注目している思想は間違いなく仏教です。

というのも、人間の長い歴史の中で、仏教だけが包括的に『人間の幸せとは何か』を研究した学問であるということが、欧米でも理解され始めているからです。

海外に挑む人にとっても、仏教の本質を理解しておくことは、対人関係において自分を印象づける戦略としても、抜群に有利な知識となることでしょう。

【略歴】

1960年生まれ、奈良県出身。

近畿大学医学部卒業後、大阪府立中宮病院(現:大阪府立精神医療センター)に勤務、精神科救急病棟を設立し、同主任を経て、1999年に同病院を退職、名越クリニックを開業。思春期精神医学を専門としつつ、精神科医というフィールドを越えて、テレビ・雑誌・ラジオ等のメディアで活躍する。

【著作】

『どうせ死ぬのになぜ生きるのか』(PHP新書 '14年)

『対人関係が一瞬で楽になる心の技術』(同前 '15年)

『自分を支える心の技法 —怒りをコントロールする9つのレッスン—』(ちくま文庫 '15年)

『人間関係に必要な知恵はすべて類人猿に学んだ —類人猿分類公式マニュアル2.0 —』(夜間飛行 '15年)

『僕たちの居場所論』(共著《内田樹・平川克美》/角川新書 '16年)

『浄心への道順 —瞑想と覚りをめぐる初期仏教長老と精神科医の対話—』(サンガ '16年)

『もうふりまわされない! 怒り・イライラ』(日本図書センター '17年)

『Solo Time 「ひとりぼっち」こそが最強の生存戦略である』(夜間飛行 '17年)

『「他人」の壁』(共著《養老猛》/SBクリエイティブ '17年)

『自分を支える心の技法 対人関係を変える9つのレッスン』(医学書院 '12年/新版:小学館 '17年)

『生きるのが“ふっ”と 楽になる13の言葉』(朝日新聞出版 '18年)

など多数。

このほか『Oggi』(小学館),『浄土宗新聞』,『潮』,『アルファポリス』(Web投稿雑誌)など新聞・雑誌にも連載中。

また、「生きるための対話」(メールマガジン),「名越康文TV シークレット・トーク」(有料会員制動画放送Webチャンネル)を配信中。

【テレビ】「ミント!」(毎日放送),「シューイチ」(日本テレビ)など。

【ラジオ】「内田樹&名越康文の『辺境ラジオ』」(毎日放送)。

【公式HP】「精神科医 名越康文の研究室」(<http://nakoshiyasufumi.net/>)

会場：龍谷大学 深草学舎 顕真館

一般来聴歓迎(無料・申し込み不要)!!

主催：龍谷大学宗教部

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 TEL 075-645-7880 MAIL syukyobu@ad.ryukoku.ac.jp